

五代目から六代目へ 藤田大和 夕張大教会長拝命



発行所
天理教夕張大教会
〒068-0029
北海道岩見沢市9条西6丁目
☎ 0126-22-1248
FAX 0126-23-7275
yubaridai146@gmail.com

ホームページ
bariten.main.jp

LINE 友達登録
お願いします

新会長より

謹啓

盛夏の候、健やかに過ごされる事とお慶び申し上げます。

皆様方には、常日頃から大教会へ並々ならぬ御力添えを賜り、更には、今なお日常を取り戻せない程の困難な日々をお過ごしのことと存じますが、その中にもそれぞれの教会をお守り下さり、おつとめ、ひのきしんに人助けの真実の心をお尽くし下さいます事、心より厚く感謝申し上げます。

私儀、去る六月二十六日に、おちばの先祖の御前にて夕張大教会六代会長の理のお許しを戴きまして、来る九月四日十時より、六代会長就任奉告祭を執り行わせて頂く運びとなりました。折しも只今は、人と人との過密を避ける事が何より優先されます上から、この度の奉告祭は、大教会おつとめ奉仕員の方々と、直轄信者の皆様の御参拝のみで、

お知らせ

八月月次祭 8月15日(木) 9時30分開扉献饌

祭典の様様をライブ配信します

六代会長就任奉告祭 9月4日(土) 10時開式

祭儀式とおつとめを勤め、親神様へのご奉告とさせて頂きます事、又その後の直会や催しものは行わず、お弁当をお渡しさせて頂き終了となります事をお知らせ致します。誠に申し訳ありません。

また当日ご参集頂けます皆様におかれましても、ご健康を第一にお考え下さいまして、ご不安がありましたら所属の教会を通して大教会までお知らせ頂き、ご欠拝頂いて構いません。大教会でも不織布マスク、除菌をはじめ、参拝の間隔、飛沫の防止、椅子の用意など、念入りに準備を整えて、その日を迎えたいと存じます。

いずれまた、夕張に繋がる全ての皆様と笑顔でお会いできる日を心待ちにしております。

立教一八四年(令和三年)

謹白

七月吉日

天理教夕張大教会長 藤田大和

天理教夕張大教会六代会長就任奉告祭

◎立教184年(2021年)9月4日(土)10時より 開式

- ・場内のコロナ感染防止対策にご協力下さい
- ・奉告祭へ向けての準備や、当日の詳細は次のページへ

六代会長就任奉告祭について

9月4日に執り行われる就任奉告祭について、実行委員会ではこれまで多方面にわたり熟考を重ねて参りましたが、この度は新型コロナウイルスへの感染予防を最優先し、左記の通り決定させて頂きました。

○奉告祭の内容について

- ・当日は、予定通り午前10時より、祭儀式、おつとめを勤めさせて頂き、新会長、実行委員長の挨拶を以て終了となります。直会や祝賀行事はございません。
- ・人と人との過密を避ける為、今回はやむを得ず人数を絞り、おつとめ奉仕員の方々と直轄信者の皆様、また各所で最低限必要なひのきしん係員の方々のみで勤める事となりました。
- ・お子様のご参拝につきましては誠に申し訳ありませんがこの度はお控え下さい。
- ・当日ご参集の方々へは昼食にお弁当を用意致しますが、感染予防上、大教会では喫食せず、お持ち帰りとなります事をご了承下さい。

○ご来賓について

- ・当日は真柱様からの「メッセージ」を喜多世話人先生がご代読下さいます。

○感染対策について

- ・当日はおつとめ奉仕員を始め、全ての方に不織布マスクをご用意致しますので、マスク着用をお願い致します。ご参集の方々は2週間前から検温を続けて頂き、当日わずかでも発熱された方や、体調が不安な方はご無理なさらさず、所属教会を通じて大教会にお知らせの上、ご欠拝下さい。
- ・受付にてアルコール除菌、検温、出欠の確認、及び北海道庁による「コロナ通知システム」にメールアドレスの登録を係員が実施いたします。
- ・広く皆様へ向けて奉告祭のYouTube生中継を配信致します。スマートフォンやパソコンでご覧いただけます。

右以外の詳細につきましても次号お知らせいたします。

6月26日 任命お運びの様子

6月26日、この日の天気予報は雨時々曇り。さて、新会長は晴れ男なのか雨男なのか。九時の月次祭典時には小雨も降り、昇殿参拝する夕張の四名は雨を頭に感じながら入場した。詰所では、お運びに向かう車の手配から、大教会長夫妻や一般参拝者の神殿送迎など、ぬかりなく係が担当をこなして、前日の打ち合わせ通りに事は進んだ。

祭典後に戻って着替えをした一同、詰所応接室で役員・直轄教会長が揃い写真撮影。お運びに向かう一行がワゴン車に乗り込む時も、まだ雨は降らず。西スロープから登殿する間も傘はいらなかった。

教祖殿をバックに記念撮影、撮影スタッフも要領を実に心得ており、役員先生の羽織の襟や袴の裾にも気を配っていた。

一同で北礼拝場にて参拝。その後教祖殿に集合し、真柱様による「お運び」のその時を待つ。やがて、おつとめ着姿の後継者大和氏と、羽織姿の文雄会長及び大教会役員が教祖殿奥の間へと通され、教祖の御名代としての真柱様より、教会長をお許しくださるお言葉が発せられた。

夕張大教会六代会長誕生の瞬間であった。

そして新会長に本部員先生より任命後のお仕込みがあり、最後に再度北礼拝場で、今度は新会長を芯に御礼のおつとめを勤めた。とうとう詰所に戻るまで、雨は一滴も降らなかった。

詰所に戻ると、夕張に関わりの深い教会からの差し入れや、天理在住の信者さんが子供たちとお祝いに駆け付けてくれた。梶川役員の音頭で乾杯が行われたが、その後は弁当と有志の準備した焼き鳥を手に、各々の部屋で食事を取った。ささやかではあったが、夕張としての節目の一日に、それぞれが大きな喜びを噛み締めた。

翌日、新会長はかなめ会に出席して直属教会長一同に挨拶し、その後真柱様に面談され、大教会長としての一步を踏み出した。※夕張大教会ホームページにて、お運び当日の様子が動画でアップされています。感動の一日を是非皆さんもご覧ください。

任命お運び 当日の様子↓



6月月度次祭の様相

夏前のお知らせとした天気の日も多く、外で過ごすにはいい気候であった。依然続く緊急事態宣言の中、大教会を訪れる人もまばらではあったが、その中で奉告祭の準備や内外の整備のひのきしんに来る人もおり、初夏の心地よい風の下、汗を流していた。

迎えた15日の祭典日、思ったよりも気温が上がらずに涼しく、用意した扇風機も出番がなかった。定刻9時半より開扉献饌。

祭文奏上のち、座りづとめ・十二下りのてをどりが勤められた。緊急事態宣言下、やむなく欠拝する方もおられたが、集まった奉仕者で手分けをして、いつも通りの賑やかなおつとめが勤められた。

講話に先立ち、6月6日に出直された、阿部美子・札美分教会初代・三代会長の御霊に黙祷を捧げた。

講話には大教会長が立ち「今



月26日にお運びがあり、そこで六代会長が誕生します。翌27日には、かなめ会にて新会長が紹介され、その後真柱様と面談があり、その場において奉告祭の方針が決まると思います。実行

委員会をはじめ関係各所には、なかなか方針が決まらず不安に感じている事と思います。しかし一方で、これまでの夕張の行事・記念祭等の働きを見ると、時間が差し迫った中ではあります。問題なく準備を進められるよう、経験それぞれが積んでいるので、全く心配ないと感じています。方針が決まったならば、実行委員会と新会長が即座に皆様に発表致します。それに沿って、準備を進めて頂きますようお願い致します。

前真柱様がよく仰った事は『代替わりとは、リレーのようなもので、渡す人受け取る人双方が全力で走りながらバトンを渡せば、スムーズに交代できる』という事です。とはいえ、去年からの状況を思い返すと、なかなか全力で、とは出来る状態ではなかったですね。出来る事一つずつ、といった毎日でしたが、これまでの事、これからやっていく事を考えるには良い時間になったと思っています。今日申し上げたいのは、感謝

の言葉です。これまで無事に通ってこれたのは親神様・教祖のおかげです。また、これまで共に通ってくれた奥さんにも、感謝の言葉を述べたいと思います。お礼を言おうとすると、世話になつた方々の顔がとめどなく浮かんできます。夕張を支えて下さった、歴代の兵神会長や世話

人先生、大教会階級に尽力下さった先輩先生方。その先生方です。いつも笑って、笑いながら、という事です。笑いながらたくさんのお務めを果たし、夕張を支えて下さった。そしてこれまで一緒に務めて下さった役員・教会長・信者さん、ずっと心を沿わせて通って下さった。感謝に堪えません。この場をお借りして御礼させて頂きます。34年間、誠にありがとうございます。

生来の前向きな性格といいますが、悪い事辛い事はすぐに忘れてしまつて、思い出すのは、いい思い出ばかりです。そんな私ですが、辛かった事といえ、会長交代後すぐに前会長の具合が悪くなったことですね。昭和62年6月26日に会長に就任しましたが、次の年の夏ぐらいいから父の様子が変わってきました。検定講習の御用を辞して帰ってきましたが、年明けくらいまでは元



気がつたんですが、徐々に病状は進行していきました。8月末に憩いの家に入院し、9月から修養科の一期講師をしていた私は、毎日病院に通いました。私の一期講師が終わる日に父も退院、私が負つて詰所に帰ってきました。その時、『おんぶしてもらつても、帰つて来られるとは思わなかったなあ』と笑つた父の言葉は忘れられないです。翌平成2年の8月末に北海道へ戻り、市立病院に入院しました。

当時の私はどのように感じていたか。三代真柱様が雨龍の前会長に仰つた事を思い出しました。先代会長が身上になつた時、『こんな時に勇まないでどうする』と声を掛けられたそうです。それが頭にあつたので、私も『こんな時だからこそ』とさせ

て頂いたのが、第一回ひきよせ大会です。苦しい中での開催でしたが、それが今に繋がっているというのには感慨深いものがあります。父が出直したのは11月6日でした。すぐそばで手を握り、送らせて頂いた事は本当に良かったと思います。

父は常々私に対して『教会長は芝居が出来んとやれんぞ』と言っていました。人間は真実誠で通る方がいいんです。後からこの言葉を考えるに、皆さんに勇んで喜んで通ってもらうためには、自分個人の感情は置いておいて、声を掛けさせて頂く、という事だったと思うんです。

人のためにする『真実の芝居』というものがあるんだな、と少

しずつ分かってきました。辛い事苦しい事を顔に出さず、人のため、と笑顔を絶やさずに通る事が教会長には大事な事なんだと父は教えてくれたんだと思います。

最後に、今月のひきよせに掲載されている、『貴方への手紙』の最終回を読ませて頂きます。(内容はひきよせ六月号を参照) 長らくありがとうございますと話された。

講話が終わった後、34年間の会長職への労いを込めて、大和さん夫妻から会長夫妻へ花束が贈呈され、殿内は万雷の拍手に包まれた。祭典後に役員が集い、奉告祭の方針を固め、月末に真柱様に報告する事が確認された。

訃報

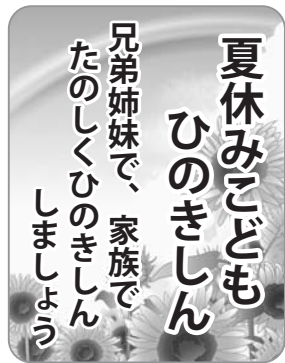
富陽分教会四代会長夫人
矢野政子様 享年88歳



6月24日未明、おちば在住の富陽分教会四代会長夫人・矢野政子姉が出直された。享年88歳だった。姉は昭和10年1月15日生まれ。ご縁あって、本部管轄課に務める

富陽二代矢野憲一氏の次男裕雄氏と結婚。おちばで一男一女を育てられる。三代会長の矢野藤枝先生を遠くからも支え続け、平成10年裕雄氏が四代会長に就任すると、おちばから年に何度も教会に運んで、信者さんと交流を深めてきた。

おちば在住であることから、本部のひのきしん、お節会、こどもおちばがえり、婦人会などの御用にとくさん勤めて下さり、五代会長となった息子のお嫁さんの明子さんと仲良くお過ごしだった。大教会へのご尽力に深謝し、哀悼の意を表します。



今年のおちばがえりは中止となりましたが、この夏休み、それぞれの場所でのひのきしんをして、こどもたちと信仰の喜び、感謝の心を育みましょう。

○家のお手伝い

○ゴミ拾い

○教会のひのきしん 等など

その日ひのきしんが出来たかお話をし、ひのきしんカードにシールを貼り付けましょう。

※シールは各自で準備下さい。

※大教会ひのきしん実施の方は、超レアシール。夕張団オリジナルパンダシールを貼らせて頂きます。

カードに30枚貼り付けたら、夕張団ひのきしんマスターの称号バッジを贈らせていただきます。

親子でひのきしんをして元気な身体に感謝。夏休みをたのしく過ごして頂きたいと思えます。詳しくは大教会HP、少年会ページを御覧ください。

修養科生紹介

宮本勝雄さん(馬追分教会、中央左) 修養科生活は初めてのことばかり。真剣勉強中です！ 先日、姉の竹田悦子さんと洋さんが激励におちばがえりされました。



大教会日誌抄 6月

▽おまもり 1件

- 1日 たすけ推進会議
- 2日 会長夫妻、札美分へ2日 国道見守りたい、花壇花植準備
- 3日 国道見守りたい、大教会国道側、駅前通、花壇花植え
- 5日 ひきよせ編集11日
- 6日 札美分初代、三代会長・阿部美子様お出直し、葬儀
- 10日 藤田大和氏、教会長任命講習受講14日
- 14日 月次祭準備
- 15日 月次祭 就任奉告祭会議
- 18日 会長夫妻、札美分へ19日
- 19日 会長夫妻、札美分月次祭
- 21日 藤田大和氏、おちばへ
- 22日 会長夫妻、おちばへ
- 23日 本部に4教会、お預け
- 24日 会長、御本部神殿当番
- 25日 国道見守りたい、国道草刈り26日
- 26日 御本部月次祭
- 六代会長任命お運び 遥拝式
- 後列より 藤田大和氏↓会長、会長夫妻↓前会長夫妻となります
- 28日 奉告祭事務局ひのきしん
- 29日 前会長夫妻、帰会
- 30日 前会長、埼玉・大谷家葬儀へ1日

庶務部 6月

- ▽教会長任命講習受講
- 藤田 大和(直轄) 6・10、14
- ▽任命お運び
- 藤田 大和(直轄) 6・26
- ▽おさづけの理拝戴
- 各務 結(北八洲) 6・23
- ▽修養科第961期新入生
- 宮本 勝雄(馬追) 7・1
- ▽話所ひのきしん
- 阿部 恭子(直轄) 6・20
- ▽をびや 1件